

主桁スタッド配置図 受託処理サービスのご案内

オフィスケイワンでは自社開発プログラムを利用したスタッド配置図の受託処理サービスを実施しています。3D 干渉チェックや設計必要本数照査などのフロントローディングを行います。また完成図面は原寸の入力データにすることも可能です。信頼性の高い処理プロセスによって、施工時のトラブルを防ぐ高品質なサービスの提供を目指します。

キーワード：スタッド配置図、照査、原寸、補正合成、不具合削減、効率化

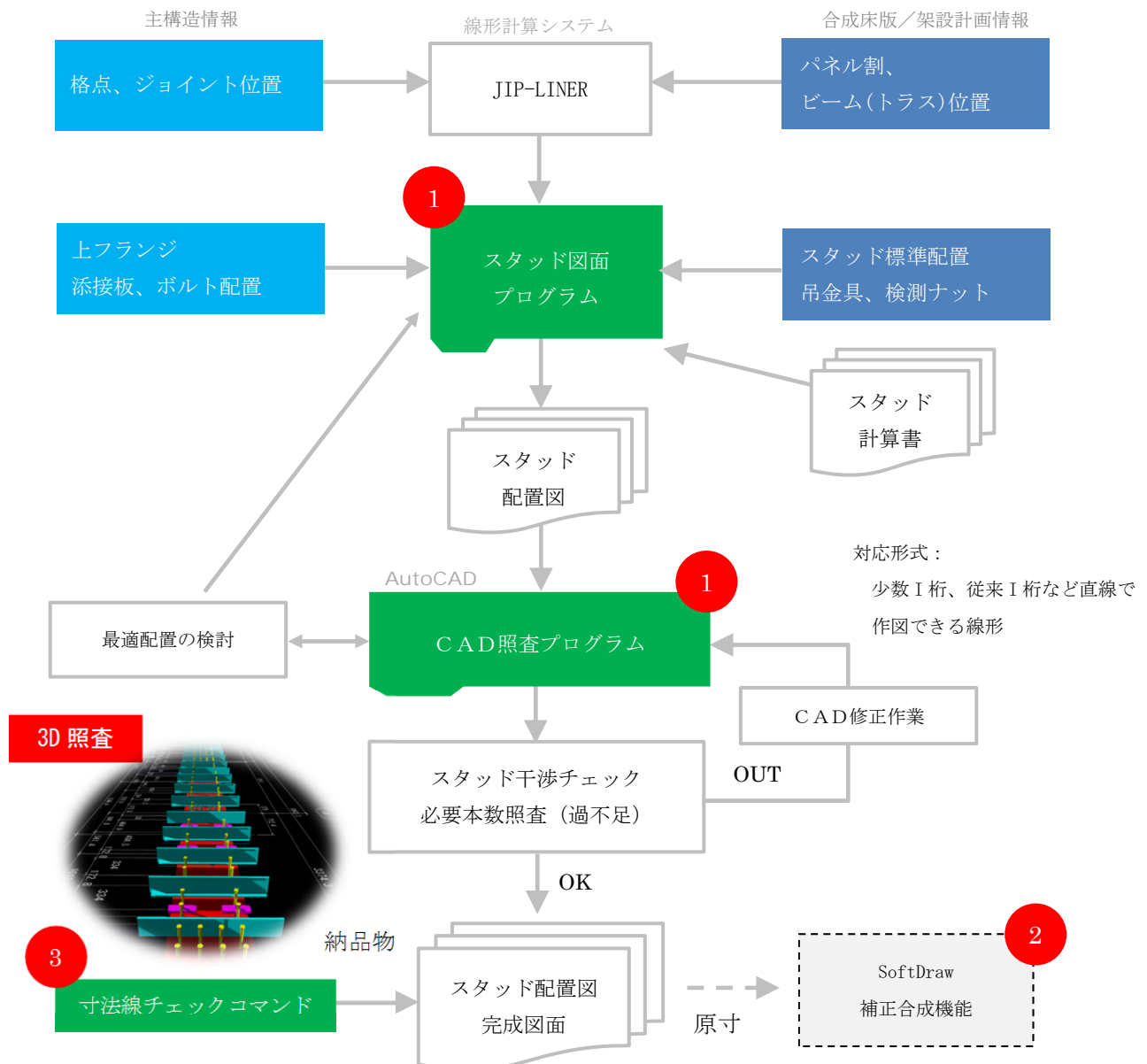


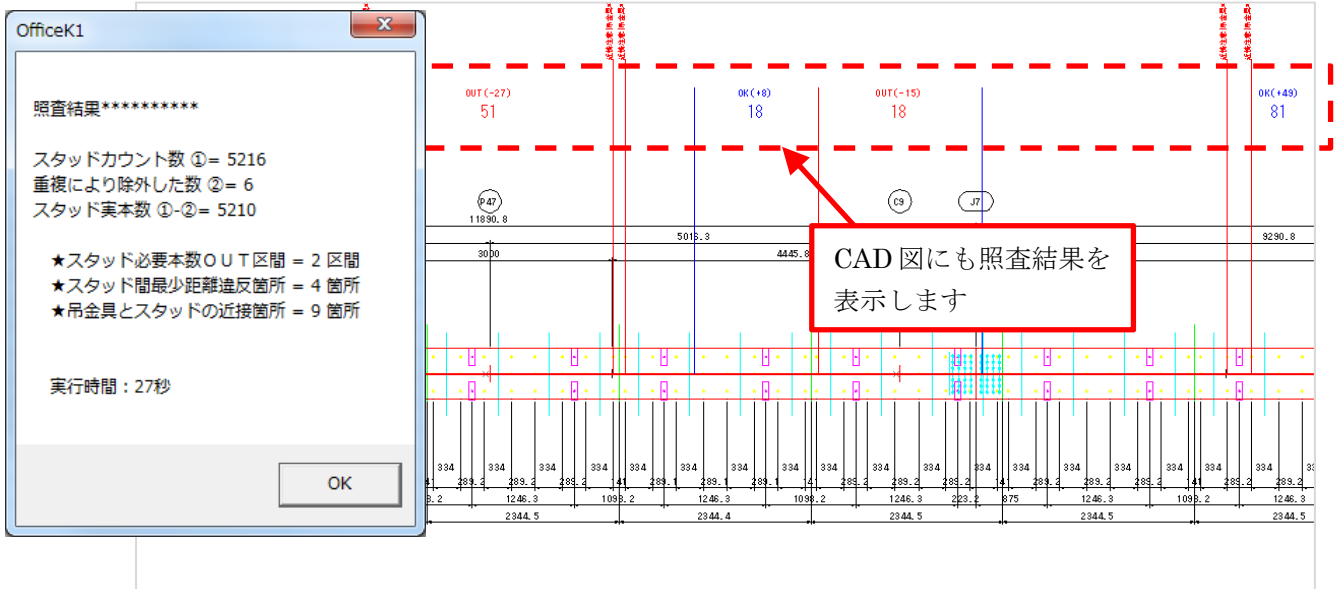
図. サービスフロー

OK1 がユーザーさまにご提供できる 3 つの強みをご紹介します！

1

スタッド図面プログラムを利用し短納期と品質を両立します！

自動製図プログラムを利用することで効率よく正確なスタッド配置図を作成します。また CAD 照査プログラムでスタッド必要本数、最少間隔、吊金具との干渉などのチェックを行います。ユーザご担当者さまのチェック負担を軽減し、経済設計にも貢献します。



2

原寸ソフト SoftDraw を知ったスタッフが設計図を仕上げます！

ご提供するスタッド配置図面を原寸で再利用するための形式で作図することが可能です。作図上のポイントは、

- (1) 主桁中心上にて実寸配置（寸法値修正でごまかさない）
- (2) 検測用ナット、吊金具など上フランジに取り付く部材をすべて図面に反映

SoftDraw には直線作図図面を線形なり（ゆるいカーブなど）の図形に補間して張り付ける機能がありますので、作図と原寸の両方で効率化を図ることが可能です。

SoftDraw は SoftBridge 株式会社が開発・販売する製作情報 CAD 編集システムです。

詳細はこちらから <http://www.softbridge.co.jp/softdraw.html>

3

図面が実寸で描かれているかチェックできる仕組みがあります！

設計図面を原寸で利用する場合、図面が正確に描かれているかが重要です。弊社では図面データの寸法オブジェクトに対して、表示寸法と実測寸法のチェックを行うコマンドを運用しています。

よって原寸担当の方は安心して弊社納品図面を再利用していただけます。

